



子育て世代を応援！ 消防団活動時の託児制度を試行導入



現在、本市消防団員の平均年齢は34歳で、多くが子育て世代です。消防団員が家庭や子育てと両立しながら安心して活動できる環境づくりを進めるため、「消防団活動時における託児制度」を試行的に導入しました。

また、災害情報の迅速な共有や消防団員間の連絡、事務の効率化を図るため消防団アプリを導入し、消防団活動のデジタル化を推進しています。

■消防団活動時における託児制度

消防団の訓練などの活動時に、託児業者に委託し、消防本部庁舎内の一室で消防団員の子どもを預かります。託児を希望する消防団員は、安心して訓練などの活動に参加することができます。

子育て世代の消防団員が活動しやすい環境を整えることで、消防団活動の継続や消防団員の確保につなげ、地域防災力の向上を目指します。



託児風景

■消防団アプリ

火災などの災害情報の配信や事務連絡、訓練などのスケジュール管理ができる消防団アプリを導入しました。これまで一部の消防団員（主に分団長）を経由して行っていた情報共有を、事務局から全消防団員へ一斉に配信できるようになり、情報共有の迅速化と事務の効率化を実現しました。



アプリ導入説明会

問合せ	消防本部 庶務課 担当：山内（やまうち） 0562-32-1178、0562-36-0119 代表（内線24）
-----	---